

英國 Autumn Budget 2025

— 食品・飲料・ホスピタリティ 業界関連事項 —

※11月26日に英國政府から発表された事項を中心に記載。今後、英國政府から更なる詳細について発表される可能性有。

11月26日、英國のリーブス財務大臣による秋季財政演説が行われ、所得税の課税基準額の凍結（実質増税）や高所得者の税控除恩恵の抑制や配当・資産課税の税率引上げを含む予算案が発表された。

【歳出面・経済促進】

- 来年4月から家庭エネルギー料金を平均約150ポンド削減。冬期燃料補助の継続。
- 鉄道運賃・処方箋料の引き上げを1年間凍結。3人目以降の子供に対する児童手当の制限廃止。
- 65歳未満の個人貯蓄口座非課税枠の縮小（2万→1.2万ポンド）で個人投資促進。
- 来年4月より最低賃金を4.1%の引き上げ、時給12.71ポンドへ

【歳入面】

- 公的債務を削減し、財政余力を倍増：217億ポンド
- 所得税の課税基準（閾値）変更等の凍結延長（3年間）：80億ポンド
- 高所得者の税控除恩恵の抑制（給与→年金への拠出上限設定）：47億ポンド
- 配当収入、利子所得等への税率2%引上げ：20億ポンド
- EV車向けの走行距離課税導入（1マイル3ペンス）（2028年4月より。14億ポンド）
- たばこ・酒・ギャンブル増税：10億ポンド
- 200万ポンド以上の住宅への課税創設（2028年4月より。4億ポンド）

【経済見通し】

- 予算責任庁は、実質経済成長率の予測を2025年は従来の1%→1.5%に引き上げる一方、2026年は1.4%に引下げてその後の4年間は1.5%に引き下げた。

食品・飲料・ホスピタリティー関係の主な変更点

- (1) 小売・ホスピタリティ・レジャー(RHL)向けビジネスレート乗数を標準より5p低く設定
- (2) 最低賃金: 21歳以上を ₩12.71 に引き上げ
- (3) 砂糖入り清涼飲料水税(SDIL):
 - ・課税下限を 5g/100ml → 4.5g/100ml に引き下げ
 - ・乳飲料・乳代替飲料の免除を廃止
- (4) プラスチック包装税(PPT): マスバランス方式導入(化学的リサイクル算入)
- (5) 酒税: 小売価格指数(RPI)に連動して増税

※上記以外に農業関係では、相続税優遇の見直し、オンラインギャンブルに対する課税強化が計られる一方、競馬については、競馬振興の観点から税率維持されるといった措置があるが、詳細割愛

項目	現行制度(概要)	変更点(概要)	適用時期
小売・ホスピタリティ・レジャー(RHL)事業に対するビジネスレートの乗数(multiplier)引き下げ(RV 500,000ポンド未満対象)	商業不動産の評価額(RV) × multiplier で課税 注: RHL向けには、パンデミック後の経済支援として、一時的な減免(例: 今年度は40%)が存在	RV 500,000 ポンド未満の RHL 物件に → 標準 multiplier より 5p 低い乗数 を恒久適用 例: 2026–27 小規模 RHL multiplier: 38.2p (標準 43.0p より低い)	2026年4月1日
労働者向け最低賃金(National Living Wage / NLW)の引き上げ	21歳以上 £12.21／時	21歳以上を £12.71 /時 (+4.1%)	2026年4月1日
砂糖入り清涼飲料水税(SDIL: Soft Drinks Industry Levy)	砂糖入り飲料に課税する税。甘味炭酸飲料などに対して課税。閾値は砂糖 5g／100ml。乳飲料(例えばチョコレートミルク、ミルクシェイク)、乳代替飲料は免除	砂糖含有量下限を 5g → 4.5g/100ml 乳飲料・乳代替飲料を課税対象へ	2028年1月1日

項目	現行制度(概要)	変更点(概要)	適用時期
プラスチック包装税 (Plastic Packaging Tax)	従来の制度では「mechanical recycling(機械的再生)」材が主な対象で、「化学リサイクル(chemical recycling)」材が再生材とみなされにくい構造。	<ul style="list-style-type: none"> ・化学的リサイクル (chemical recycling) によって生成された再生プラスチックを PPT の「リサイクル材 (recycled plastic)」として認めるために、Mass Balance Approach (MBA) を採用。この変更により、「化学リサイクル材 + バージン材」を混ぜて使う場合でも、適切な認証・トレーサビリティを確保すれば、一定割合を「リサイクル材」とみなすことが可能 ・2027年4月からは「pre-consumer waste (製造過程で出た廃プラスチック)」を再生材 (recycled plastic) とみなす扱いは廃止 <p>注: 製造プロセスにおいて原材料やエネルギーなどの「入力」と、製品の「出力」の間で環境価値などの特性を調整しバランスを取るアプローチ</p>	2027年4月1日
酒税		酒税を小売価格指数 (Retail Price Index; RPI) に合わせて引き上げ (+3.66%)	2026年2月1日